

会 報

2005 年度

1. 春季大会記事

2005 年度春季大会は、6 月 26 日(日)に北海学園大学豊平キャンパス 4 号館にて開催された。以下の通り、一般研究発表、講演会および総会が行われた(参加者 35 名)。

●一般研究発表(10:00~12:05)

杉山悠然(北海道大学大学院環境科学院・院): 安達太良連峰の風衝地における植生景観

沼田尚也(北海道大学大学院文学研究科・院): 札幌市における都市内人口移動

相馬絵美(北海道大学大学院文学研究科・院): 積雪地域における都市内避難場所の空間構造—札幌市中心部を事例として—

初沢敏生(福島大学教育学部): 北海道在住陶芸作家の独立までの「学習」の特徴—1970 年代における作家紹介記事の「修業歴」を手がかりとした試み—

武田 泉(北海道教育大学岩見沢校): 地方部高等学校における地域に根ざした教育活動の展開—生徒会による鉄道存続運動と中高一貫教育における特設科目の事例からの考察—

なお、一般研究発表については、本号に発表要旨を掲載している。

●講演会(13:30~15:00)

西村裕一(北海道大学大学院理学研究科地震火山研究観測センター): 「スマトラ沖巨大地震とインド洋大津波—インドネシアとスリランカの現地調査から—」

なお、本号に講演要旨を掲載している。

●総会(15:10~16:00)

・投稿規程の改訂およびホームページの運用について、事務局より報告があった。

・2004 年度事業報告・決算報告・監査報告について

幹事長より 2004 年度事業報告、事務局より決算報告、会計監査より監査報告がそれぞれあり、いずれも承認された。事業報告の内容は、次に挙げる 5 項目だった。1) 機関誌「北海道地理」第 79 号を刊行、2) 春季大会の開催、3) 秋季大会の開催、4) 国際地理学会議(IGC)グラスゴー大会への出展、5) 「私たちの身のまわりの環境地図作品展」への協賛。なお、2003 年度末の会員数は、顧問 5 名、普通会員 141 名、学生会員 29 名であった。

2004 年度決算報告(カッコ内は予算額):

(収入)

会費	296,000 (430,000)
雑収入	0 (40,000)
<広告料	0 (30,000)>
<会誌販売	0 (10,000)>
<寄付金	0 (0)>
前年度繰越金	451,982 (451,982)
計	747,982 (921,982)

※会費収納率 52.6%。

(支出)

会誌印刷費	409,710 (400,000)
事務費	59,278 (70,000)
<一般事務費	6,358 (40,000)>
<パンフ印刷費	52,920 (30,000)>
通信費	43,730 (100,000)
<学会誌郵送	12,710 (30,000)>
<大会関係	28,270 (35,000)>
<その他	2,750 (35,000)>
謝礼	0 (10,000)
秋季大会補助	0 (40,000)
会議費	15,770 (20,000)
予備費	0 (281,982)
次年度繰越金	219,494 (0)
計	747,982 (921,982)

※会誌印刷費は第 79 号分。

・2005 年度事業計画案・予算案について

幹事長より 2005 年度事業計画が提案され、承認された。事業計画案の内容は、次に挙げる 5 項目だった。1) 機関誌「北海道地理」第 80 号を刊行、2) 春季大会の開催、3) 秋季大会の開催、4) 例会の開催、5) 「私たちの身のまわりの環境地図作品展」への協賛。これに伴う予算案が事務局より提案・説明され、承認された。

2005 年度予算案:

(収入)

会費	393,750
雑収入	115,000
<広告料	100,000>
<会誌販売	10,000>
<寄付金	5,000>

前年度繰越金	219,494
計	728,244

※会費収納率70%にて計算。

(支出)

会誌印刷費	380,000
事務費	20,000
通信費	70,000
<学会誌郵送>	25,000
<大会関係>	25,000
<その他>	20,000
謝礼	10,000
秋季大会補助	10,000
会議費	10,000
予備費	228,244
計	728,244

※会誌印刷費は第80号分。

・任期満了に伴う役員改選があり、下記の会員が2005-2006年度の役員として選出された。

会 長	寺田 稔
副 会 長	小野寺 徹
〃	渡辺 悌二
会計監査	佐々木 巽
〃	三好 勲

次に、新会長より下記の幹事および委員が委嘱された。

また、幹事の互選により、以下の役割分担とした。

幹 事 (庶務)	橋本 雄一
〃 (庶務)	梅田 克樹
〃 (庶務)	大内 定
〃 (庶務)	木村 圭司
〃 (庶務)	相馬 絵美
幹 事 (編集)	曾根 敏雄
〃 (編集)	菊地 達夫
〃 (編集)	澤田 結基
〃 (編集)	祖田 亮次
〃 (編集)	高橋 伸幸
〃 (編集)	渡辺 悌二
〃 (編集)	百瀬 裕水
幹 事 (集会)	鈴木 正章
〃 (集会)	金森 正郎
〃 (集会)	佐久間直樹
〃 (集会)	川村 真也
〃 (集会)	経亀 諭
〃 (集会)	沼田 尚也

2. 秋季大会記事

2005年度秋季大会として、11月20日(日)に巡検「胆振の自然と社会」を開催した。参加者は17名だった。コースは次の通り。JR札幌駅北口⇒苫小牧駅前商店街⇒イオン苫小牧SC⇒樽前川沿い砂利採取場⇒社台牧場⇒白老町社台⇒JR札幌駅北口。詳細については、本号掲載の報告論文を参照されたい。

3. その他

・第15回「私たちの身のまわりの環境地図作品展」(環境地図教育学会主催)における優秀作品に対して、北海道地理学会長賞を授与した。

「ハケ下的水調査」

筑波大学附属駒場中学校1年 中井雄太

「TIMELESS 石山軟石」

北海高等学校2年 青山麻里亜・井口知美・杉浦綾・杉本三奈

・会員消息(会誌80号掲載以降、敬称略)

入会:久保田勝彦(㈱地建補償)、佐々木稔基(北海道大学農学研究院・院)、福井朋美(北海道札幌北高等学校)、森永陽一朗(北海道大学文学研究科・院)、山下亜紀郎(酪農学園大学環境システム学部)、柚洞一央(北海道大学文学研究科・院)

退会:大瀧洋子、大脇演幸、倉茂好匡、貞方 昇、佐藤賢、張 貴民、外山義勝、富塚佑樹、林 隆治、藤島範孝、藤野英世、丸山純孝、山川 勉